

1. 科目名 (単位数)	教育実習指導 (初等) I (1 単位)	3. 科目番号	SJTP3555
2. 授業担当教員	荒木 由紀子		
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	保育内容5領域の学修を終了、または平行して学ぶ事が望ましい。		
7. 講義概要	教育実習は、大学で習得した知識や理論を、幼稚園で実践することにより、幼稚園教育の理解を深め、教師の使命感と保育の実践力とを身につけ、教育職としての資質を向上させることを目的とする。本授業では、実習の目的達成のための基礎知識や心構え、実践方法を扱う。具体的には、指導計画作成、保育状況把握、教材研究、指導方法、記録の仕方などについて講義や事例検討を通して学ぶ。保育の具体的な状況に応じた判断力、行動力を養うため、模擬保育や教材研究など活動を伴う授業を含める。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の現場にかかわる人としての基本的な態度、マナー、言葉遣いを理解し、自然に振舞うことができる。 2. 保育実習者として現場から学ぶことの意味と学び方がわかる (子どもからの学び、保育者からの学び)。 3. 実習体験の段階 (観察、参加、実習) における実習目標と実習記録の方法はわかる。 4. 指導計画の作成―実践―反省の過程を体験的に学習し、実践の振り返りと計画の改善の方法がわかる。 5. 子どもの発達段階にふさわしい教材と子どもの興味関心、自発的遊びを生かした活動の展開がわかる。 6. 子どもの活動や遊びへの関わりかた、問題状況への対応をロールプレイなどを通して身につける。 7. 幼稚園生活の1日の流れ、保育環境の整備の仕方など、幼稚園の生活の全体について知っておく。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>毎回の予習、復習、授業時間内に行う発表等を評価対象にする。</p> <p>具体的には、年齢別の発達等を鑑みた児童文化教材の調査発表、教育実習で披露する個人の製作物、自作の指導案に沿っての模擬保育、及び時々、授業資料の提出を求め、評価の対象とする。</p> <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉の遣い方に関するレポート課題 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 関口はつ江監修『自分を生かす保育実習ハンドブック』大学図書出版、2022 年 東京福祉大学編『教育実習の手引き』 『幼稚園教育要領』フレーベル館</p> <p>【参考書】 文部科学省編『幼稚園教育要領解説』フレーベル館</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 決められた書類作成・提出 (計画表、課題レポートの記入の作成と提出) ができる 2 保育者としての言動 (態度、マナー) が取れる。 3 指導技術 (模擬保育等) が身に付いている。 4 保育の評価・反省 (記録作成、考察、反省分作成) ができる。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グループ活動 (指導案作成、模擬保育実践・反省) 30% 2 模擬保育への積極的参加、記録の作成 40% 3 課題レポート及び最終レポート 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>子どもの年齢による発達や、保育者に必要な専門性とは何かを調べ、教材研究、および指導案を作成するなど、実習に向けての事前学習を滞りなく進めていくこと。また、課題ごとの反省・評価に基づき、各々で次の課題を見出し、日々の生活や学習の仕方を自身で検討し実践につなげていくこと。また、現場の多くで取り入れているドキュメンテーションについても学んでいきたい。本学の規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は、単位の習得を認めない。遅延の場合は遅延証明書を当日またはメールにて提出すること。遅刻は授業開始から 15 分以内とする。それ以降は欠席扱いとする。</p>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。メールでの問い合わせは随時。yukikoaraki@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業の概要、授業計画、教育実習の目的、幼稚園の位置づけ、幼稚園現場の特徴など	事前学習	幼稚園教育要領、幼稚園教育の目的、方法を読む。教科書 pp.152~160 を読む。
		事後学習	自分の実習に向けての課題を確認する。
第2回	実習に向けての基本的な心構えなど (自己理解と態度、礼儀、マナー、服装について)	事前学習	教科書 pp.33~39 を読む
		事後学習	手引きを読み、大切な事項に下線を引く
第3回	実習における事前・事後指導 (1) (実習オリエンテーションについて) - DVD 視聴 -	事前学習	教科書 pp.70~73 を読む
		事後学習	手引きを読み、大切な事項に下線を引く
第4回	実習における事前・事後指導 (2) 実習中の留意点、実習後の活動について	事前学習	教科書 pp.161~163、pp.124~127 を読む
		事後学習	手引きを読み、大切な事項に下線を引く
第5回	園生活の理解 (幼稚園の1日の流れについて) - DVD 視聴 -	事前学習	教科書 pp.51~57 を読む。
		事後学習	幼稚園の1日の流れを確認、実習生としての動きをノートにまとめる
第6回	実習日誌の記入について (1)	事前学習	教科書 pp.94~99 を読む。
		事後学習	日誌記入について、大切な事項をノートにまとめる。
第7回	実習日誌の記入について (2) ドキュメンテーションについて	事前学習	教科書 pp.102~105 を読む。
		事後学習	教科書の該当箇所を読み復習する。
第8回	教材研究 (1)	事前学習	教科書 pp.85~87, pp.141~149 を読む。

	保育教材としての有効性について	事後学習	子どもの発達段階について他講義内容を振り返る。
第9回	教材研究(2) 調査した教材についての発表	事前学習	個人発表の準備を整える。
		事後学習	自己の個人発表を振り返り改善点を書き出す。
第10回	指導案の作成(1) 指導案構成の理解と作成の仕方	事前学習	教科書 pp.82~84、pp.87~94を読む
		事後学習	指導計画作成のポイントをノートにまとめる
第11回	指導案の作成(2) 留意点や配慮について	事前学習	教科書 pp.117~124を読む。
		事後学習	指導計画を作成する
第12回	模擬保育(1) 教材研究と発表	事前学習	保育活動内容の可能性について考える。 模擬保育の練習をする。
		事後学習	他の発表について授業資料にまとめる。
第13回	模擬保育(2) 教材研究と発表	事前学習	保育活動内容の可能性について考える。 模擬保育の練習をする。
		事後学習	他の発表について授業資料にまとめる。
第14回	模擬保育(3) 教材研究と発表 及び実習に際しての再確認事項	事前学習	保育活動内容の可能性について考える。 模擬保育の練習をする。
		事後学習	他の発表について授業資料にまとめる。
第15回	実習における自己課題の検討及び実習に関する質疑応答と再確認 小学校への接続を考える	事前学習	どのような実習にしたいか、実習に向けての抱負を考える。
		事後学習	実習中、実習後の流れを確認する。

*2019年度以降入学生より、教育実習にかかわる単位取得は、教職課程再課程認定に伴い「教育実習指導(事前指導)」、「教育実習(4週)」および「教育実習事後指導(1時間)」におけるすべての履修によって単位取得が認定されることとなった。